

教育委員会の権限に属する事務の 管理及び執行状況の点検・評価

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項)

(令和6年度)

令和7年10月

君津市教育委員会

目 次

【教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要】

	頁
一 点検・評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
二 点検・評価に関する報告の内容・・・・・・・・・・・・・・・・	1
三 取組状況及び点検・評価結果の概要・・・・・・・・・・	1

【教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果】

	頁
一 教育委員会会議の開催状況及び審議内容等・・・・・・・・	2
1 教育委員会会議の開催状況・・・・・・・・・・	2
2 教育委員会会議の審議・報告事項・・・・・・・・	2
(1) 審議内容・・・・・・・・・・	2
(2) 報告事項・・・・・・・・・・	4
二 総合教育会議の開催状況及び協議・調整事項・・・・・・・・	4
三 教育振興基本計画の取組状況及び点検・評価結果・・・・・・・・	4
1 令和6年度評価基準の概要・・・・・・・・・・	4
2 点検及び評価結果・・・・・・・・・・	5
(1) 自ら考え自ら学ぶ子どもを育成する（学校教育）・・	5
(2) 全ての市民が自己を磨き続けることのできる環境を整える（生涯学習）・・	12
(3) 市民が心豊かに暮らしていける環境を整える（文化・芸術振興）・・	17

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価

【教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要】

一 点検・評価の目的

効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たす観点から、教育委員会では、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表するものです。

二 点検・評価に関する報告の内容

次の3項目の状況について報告します。

1 教育委員会会議の開催状況及び審議・報告事項

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員による案件の審議を行っており、その開催状況と審議・報告事項について報告するものです。

2 総合教育会議の開催状況及び協議・調整事項

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、市長と教育委員会が、相互の連携を図りつつ、より一層民意を反映した教育行政を推進していくために設置された会議で、その開催状況と協議・調整事項について報告するものです。

3 教育振興基本計画の取組状況及び点検・評価結果

教育振興基本計画に掲げる施策について、取組状況を踏まえて点検・評価を実施し、その結果を報告するものです。

三 取組状況及び点検・評価結果の概要

1 教育委員会会議の開催状況及び審議・報告事項（令和6年度）

令和6年度は教育委員会会議を12回開催し、審議案件35件、報告事項46件について審議しました。

2 総合教育会議の開催状況及び協議・調整事項（令和6年度）

総合教育会議は必要に応じて随時開催しており、令和6年度の開催はありませんでした。

3 教育振興基本計画の取組状況及び点検・評価結果（令和6年度）

教育振興基本計画は、計画の実効性を高め、教育施策を強力に推進するため君津市総合計画基本計画と整合を図り策定していることから、施策の評価についても、君津市総合計画実施計画と同一の基準により評価を実施しました。

施策分野ごとの評価は、AからDの4段階のうち、「市民が心豊かに暮らしていける環境を整える」の分野における文化・芸術に係る環境の整備について、課題が多くあることから、C評価としておりますが、「自ら考え自ら学ぶ子どもを育成する」、「全ての市民が自己を磨き続けることのできる環境を整える」の2分野でB評価としており、概ね計画どおり進捗しています。

【教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価結果】

一 教育委員会会議の開催状況及び審議内容等

令和6年度に開催された教育委員会会議の開催状況及び審議・報告事項は、次のとおりです。

1 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は、毎月定例的に開催しています。

令和6年度は12回開催し、教育委員会の事務執行内容等について審議しました。

2 教育委員会会議の審議・報告事項

(1) 審議内容

人事関係 9件、条例・規則関係 19件、教育行政の運営関係 3件、予算・議会関係 4件の合計 35件の審議を行いました。

区分	審 議 事 項
人事関係	1.令和6年度教科用図書君津採択地区協議会委員の選出について
	2.君津市公民館運営審議会委員の委嘱について
	3.君津市文化財審議会委員の委嘱について
	4.君津市学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
	5.君津市学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
	6.令和6年度君津市優秀な教職員表彰について
	7.君津市学校医及び学校歯科医の委嘱について
	8.社会教育委員の委嘱について
	9.公民館運営審議会委員の委嘱について
条例・規則 関係	1.令和6年度教科用図書君津採択地区協議会規約の制定について
	2.君津市学校教育振興事業補助金交付要綱の一部を改正する告示について
	3.君津市就学援助費支給要綱の一部を改正する告示について
	4.君津市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する告示について
	5.君津市公民館規則の一部を改正する規則の制定について
	6.君津市地域交流センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
	7.君津市図書館規則の一部を改正する規則の制定について
	8.君津市教育委員会会議傍聴人規則の一部改正について
	9.君津市奨学金貸付条例施行規則の一部改正について
	10.君津市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の一部改正について
	11.君津市教育委員会教育長の権限に属する事務の一部を学校長に委任する規程の一部改正について

区分	審 議 事 項
条例・規則 関係	1 2.君津市図書館協議会委員の委嘱について
	1 3.君津市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について
	1 4.君津市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定について
	1 5.君津市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について
	1 6.君津市立公民館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程の一部を改正する訓令の制定について
	1 7.君津市立久留里城址資料館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程の一部を改正する訓令の制定について
	1 8.君津市社会教育指導員の設置に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	1 9.君津市家庭教育指導員の設置に関する規則の一部を改正する規則の制定について
教育行政の 運営関係	1.教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価について
	2.令和7年度使用教科用図書の採択について
	3.住民に開かれた教科書の選定・採択を求める請願について
予算・議会 関係	1.大和田・坂田小学校統合施設整備電気設備工事請負変更契約の締結について
	2.令和6年度君津市一般会計補正予算（第5号）のうち教育委員会関係予算に関する意見について
	3.令和6年度君津市一般会計補正予算（第11号）のうち教育委員会関係予算に関する意見について
	4.令和7年度君津市一般会計予算のうち教育委員会関係予算に関する意見について

(2) 報告事項

教育長が専決処分した事項等について、教育委員会会議で報告しました。

君津市教育委員会行政組織規則第8条の規定に基づき臨時に代理した処理事項
・ 財産の取得の追認について ・ 君津市立中央図書館小糸分室の臨時休館について ・ 調停の申立てについて ・ 令和6年度君津市一般会計補正予算（第7号）について ・ 令和6年度君津市一般会計補正予算（第8号）について ・ 大和田・坂田小学校統合施設整備工事請負変更契約の締結について ・ 令和6年度君津市一般会計補正予算（第9号）について ・ 君津市学校給食費の管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
教育長が出席した主な行事及び出席予定の行事について
専決処分により後援の承認をした行事について
講演会・競技会等の主催・共催行事について
その他重要案件について

二 総合教育会議の開催状況及び協議・調整事項

総合教育会議は必要に応じて随時開催しています。

令和6年度の開催はありませんでした。

三 教育振興基本計画の取組状況及び点検・評価結果

1 令和6年度評価基準の概要

各施策分野の進捗評価については、君津市総合計画実施計画の評価方法と整合を図り、目標の達成に向けた取組み状況を考慮し、下記の評価基準（A～Dの4段階）で総合的に評価を行いました。

施策分野 総合評価区分	
A	施策分野における目標の達成に向け、順調に進んでいる。
B	施策分野における目標の達成に向け、おおむね順調に進んでいる。
C	施策分野における目標の達成に向け、一定程度取組めているが、取組内容の見直しが必要である。
D	取組内容に一層の改善が必要である。

2 点検及び評価結果

(1)

教育振興基本計画	第1 自ら考え自ら学ぶ子どもを育成する
総合計画実施計画	柱3－2 学校教育

【現状と課題】※計画策定時

・本市の児童生徒の学力は、全国学力・学習調査の全国平均をやや下回っていますが、運動能力は高い水準にあります。運動が好きな児童生徒の割合は国や県の平均と比べて低い状況となっています。 ・道徳や人権について正しい知識を身に付けていくことやグローバル化、情報化の進展など、時代の変化に対応するために必要な資質・能力の育成が求められます。 ・市内の学校施設は昭和40年代から50年代に建築されたものが多く、老朽化が進んでいるため、適切に維持管理していく必要があります。 ・多様化する教育課題に対応するため、教員の指導力向上を図る必要があります。

【施策の展開と取組実績】

(1) 子育てできる環境づくり	
① 施策の概要	「子どもが主人公（チルドレンファースト）」の考えのもと、子ども自身が自らの力で成長することを支援するとともに、子どもが自分らしく意見や気持ちを表現できる環境をつくります。
ア 取組実績	・小学校へサポートティーチャー5名、サポートスタッフ23名、中学校へサポートティーチャー9名、サポートスタッフ6名を配置し、教育支援を必要とする児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制を構築し、学習活動や体験活動等の支援を行うことができた。 ・市内全中学校の生徒会役員代表が集まり、君津市や自校の課題を共有し、全体で力を入れていく共通取組事項を決定した。講演を聴き、幸せについて考え、意見交換をし、生徒から出た意見が、君津市こども大綱に反映された。
イ 課題	・学校からの人的支援を求める声は大きく、人材確保が課題である。また、教育的ニーズが多様化する中、児童生徒を指導・支援するサポートティーチャー・サポートスタッフの専門性のさらなる向上も課題である。 ・合同生徒会クラスルームを使い情報共有を行っているが、現在は年2回の会議があるときに情報共有が集中している。また、2回目はオンラインでの会議なので、年間を通して意見共有をしていくことが課題である。

ウ 今後の方向性	・サポートティーチャー・サポートスタッフの研修会を年2回開催し、より良い実践などを共有し、指導・支援の専門性の向上を目指していく。 ・令和7年8月19日（火）に第16期全体協議会を実施する。共通取組である「OMOIAI 運動」、「SDG s 活動」を重点項目に力を入れながら各学校の実態に合わせ、工夫して取り組んでいく。
----------	---

② 施策の概要	様々な仲間との交流を通し、社会性を身に付けた子どもの育成を図ります。
ア 取組実績	・日伯交流親善事業を再開。令和6年8月、上総小櫃地区の小中学校から計9名が訪伯使節団としてブラジルへ渡航。令和7年1月、ブラジルの松柏学園から53名の訪日使節団が来日。姉妹校締結の両国校が、互いに学校へ赴き、交流の中で文化の違い等を体験した。
イ 課題	・訪日使節団の規模が増加しており、ホームステイ受入れ先の不足、市役所での歓迎会の規模の拡大が課題である。
ウ 今後の方向性	・50年以上続く伝統ある事業のため、今後も末永く継続していく中で、ホームステイの依頼先の拡大や、歓迎会の場所の変更（学校の体育館を活用する等）を検討していきたい。

(2) 生きる力を育む学校教育の推進	
① 施策の概要	授業の改善を図るとともに、教員研修等を充実させることにより、児童生徒の確かな学力を育みます。
ア 取組実績	・児童生徒の学力向上に向け、学力向上推進委員会で「授業力アップ公開研修」を年2回行い、算数・数学の授業公開を行うことで、授業改善に繋げる取組を実施。また、教務主任研修会を開催し、各校の児童生徒の学力向上に関する取組を紹介しあい、共有した。きみつ学び調べをより効果的に活用できるよう、「きみつ学び調べ活用研修」を行い、市内小中学校9校が実施し、個別最適な学びに向けた指導改善に努めた。
イ 課題	・引き続き、授業力向上に向け、市内の教員に授業を見る機会を提供し、授業改善を進めていく。
ウ 今後の方向性	・授業力向上に向け、市内の教員のニーズに合わせた授業を見る機会を提供し、授業改善を進めていく。 ・教務主任会と連携し、学校が必要な研修を企画したり、学力向上に向けた取組の協議を進めていきたい。

② 施策の概要	道徳・人権教育の推進により、児童生徒の思いやりのある豊かな心を育みます。
ア 取組実績	・年2回の学校人権教育推進委員会、学校人権教育研究協議会（講演会）を通して教職員の人権意識を高め、指導力向上を図った。これらの取組により、児童生徒へのアンケート結果から「児童生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることが出来ていると思う」と感じる児童生徒の割合について、目標値の70%を超えることができた。
イ 課題	・研修で学んだことを学校全体により周知、実践できるようにしていく。
ウ 今後の方向性	・子どもたちが直面している課題にしっかりと目をむけて、授業はもちろん、子どもたちと関わる時間すべてを活用して支援していく。引き続き、教職員研修の場を設定していく。

③ 施策の概要	児童生徒の体力向上を図るため、達成感を味わえる学習体制や環境づくりに取り組むことで、自ら進んで運動に親しむことができる資質を養います。
ア 取組実績	・体力向上プロジェクト委員会において、体力テストの数値や体育学習の指導法について協議を行い、考えを深めた。県の熱中症ガイドラインの改訂に伴い、君津市熱中症対策ガイドラインを作成した。
イ 課題	・体力テストの数値や千葉県運動能力証の合格率の向上を目指し、体力向上への取組を考え、実践していく。
ウ 今後の方向性	・小中学生の体力の現状を把握し、その実態に応じた体力向上への取組を遂行していく。

(3) 新しい時代に必要な資質・能力の育成	
① 施策の概要	GIGA スクール構想のもと整備された「1人1台端末（タブレット）」及び ICT 機器等を積極的に活用し、これからの社会で求められる力を伸ばします。
ア 取組実績	・令和6年度に児童・生徒が1人1台端末（タブレット）及び ICT 機器を活用した授業時間数の1学級あたりの月平均は、小学校で19.3時間（4月～12月）、中学校で13.6時間（4月～12月）と積極的に活用されている。指導内容に応じた端末の活用を通して、社会に必要な「情報活用能力の育成」を図ることができた。 ・市内全小中学校にて、プログラミング教材R o o tを活用し、プログラミング教育を実施することができた。
イ 課題	・1人1台端末の導入から4年（令和3年2月1日導入）、校務用パソコン等の ICT 機器導入から6年（令和元年9月1日導入）が経過し、バッテリー劣化等の機器の経年劣化による故障件数が増加している。

ウ 今後の方向性	・指導内容に応じた1人1台端末及びICT機器等の効果的な活用について、教職員の研修（希望研修）を実施するとともに、経年劣化による機器の故障対応について取り組んでいく。
----------	---

② 施策の概要	教員の英語の授業力向上により、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図ります。
ア 取組実績	・ICT機器を活用し、授業力向上を図ることができた。English Day Campや英検プラクティス等の市独自の取組を通して、コミュニケーション能力の向上を図ることができた。
イ 課題	・授業力向上の推進及び児童生徒の英語力向上。
ウ 今後の方向性	・ALTを効果的に活用し、言語習得にとどまらず、グローバルな視点で物事を考え、世界で活躍できるきみつっ子の育成を目指していく。

(4) 脱炭素社会の実現に向けた環境教育の推進	
① 施策の概要	児童生徒への環境教育を通じて、環境にやさしく脱炭素につながる知識を学び、新しいライフスタイルの浸透を図ります。
ア 取組実績	・海洋教育パイオニアスクールプログラム助成金を活用し、市内小中学校7校できみつSDGs×つながる山・川・海学習プログラムを実施した。 ・さかなクンをゲストティーチャーに招いた特別授業を清和小学校で実施することができた。
イ 課題	・きみつSDGs×つながる山・川・海学習プログラム実施には、学校側に負担がかかるため、働き方改革を推進するためにも、市関係各課からの手厚い人的サポートが必要である。 ・海洋教育助成金は令和7年度までのため、その後は市の一般財源から予算を確保する必要がある。
ウ 今後の方向性	・海洋教育パイオニアスクールプログラムでは、令和6年度の取組を引き続き実施し、さらにきみつSDGs探究百科の周知を図る。

② 施策の概要	脱炭素につながる学校での環境教育の取組を、家庭や地域へ発信します。
ア 取組実績	・プレスリリースを積極的に行ったり、HPを活用したりして、社会への発信を行った。
イ 課題	・プレスリリースに係る事務を負担できる人材が不足している。
ウ 今後の方向性	・今後も引き続き、可能な範囲でプレスリリースおよび学校HPからの発信を積極的に行っていく。

(5) より良い学校環境の整備	
① 施策の概要	市内全ての子どもたちにとって「活力ある魅力的な」学校づくりを推進します。
ア 取組実績	・各学校から要望のあった修繕個所に関して、修繕を行った。
イ 課題	・各学校の要望のすべてにこたえることができない。
ウ 今後の方向性	・「君津市学校施設の個別施設計画」に基づく整備を実施していく。

② 施策の概要	周西の丘小学校をはじめ、老朽化が進む市内小中学校の施設整備を進めます。
ア 取組実績	・周西の丘小学校については、令和7年8月の完成に向けて順調に工事を進めていった。老朽化した学校施設についても、必要がある箇所について、適切な修繕を実施した。
イ 課題	・老朽化した施設が多く、修繕が必要な個所が年々増加しており、対応が追い付いていない。
ウ 今後の方向性	・「君津市学校施設の個別施設計画」に基づく整備を実施していく。

③ 施策の概要	トイレの洋式化や多機能トイレの設置を推進し、学校環境の改善を図ります。
ア 取組実績	・総合計画の目標は過年度に達成したが、さらなる洋式化に向け、国交付金の内示を受け、次年度に実施していくことにした。
イ 課題	・現状のトイレ洋式化率は、千葉県の平均値を下回っており、さらなる整備が必要となる。
ウ 今後の方向性	・今年度内示を得た国交付金を活用し、次年度にトイレ改修工事を実施するとともに、「君津市学校施設の個別施設計画」に基づく整備を実施していく。

④ 施策の概要	学校を支援する人材を確保し、地域と学校が連携・協働して、子どもたちの成長を支えます。
ア 取組実績	・各学校からの申請に基づき、自治会やPTA等から学校評議員を選出し、開かれた学校づくりの推進のための意見を聴取することができた。 ・地域住民へスクールボランティアへの登録を呼びかけることで、より良い学校環境の整備に協力していただくことができた。
イ 課題	・発達段階や各地域の課題によってボランティアの活動が変わってくるため、各学校のボランティア登録者の差がある。また、コロナ禍では、活動がなかったため登録しているが、活動を再開していない方もいる。
ウ 今後の方向性	・開かれた学校として、地域住民の協力を得ながら地域の実態に合わせた活動を行っていく。

【指標の達成状況】

指標名	現状値 (時点)	実績値					目標値
		R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 8 (2026)
①「自ら考え自ら学ぶことができる」と感じる児童生徒の割合	新規	小学校 72.3%	小学校 72.4%	小学校 73%			70.0%
	—	中学校 72.7%	中学校 72.1%	中学校 73%			
②「児童生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う」と感じる児童生徒の割合	新規	小学校 72.9%	小学校 76.3%	小学校 76.7%			70.0%
	—	中学校 70%	中学校 79.6%	中学校 75.3%			
③全国学力・学習調査の全国との相対値	小 6 国語 95、算数 94 中 3 国語 94、数学 89	小 6 国語 93、 算数 94	小 6 国語 94.8、 算数 91.5	小 6 国語 91.8、 算数 86.8			小 6 国語 100、 算数 99 中 3 国語 99、 数学 94
	令和 3 年度	中 3 国語 96、 数学 86	中 3 国語 90.8、 数学 79.3	中 3 国語 91.3、 数学 66.2			
④授業中にタブレット端末を週 3 日以上使用するクラス	新規	63.3%	77.7%	89.5%			80.0%
	—						
⑤学校施設におけるトイレの洋式化率	41.7%	62.6%	62.6%	62.6%			60.0%
	令和 2 年度						

【総合評価】

総合評価	B	評価理由	評価指標のうち、③「全国学力・学習調査の全国との相対値」以外の数値について、令和6年度の段階で、①「「自ら考え自ら学ぶことができる」と感じる児童生徒の割合」②「「児童生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と感じる児童生徒の割合」④授業中にタブレット端末を週3日以上使用するクラスは、数値を上回っているとともに、⑤「学校施設におけるトイレの洋式化率」は、整備目標値を達成しているため。
------	---	------	---

(2)

教育振興基本計画	第2 全ての市民が自己を磨き続けることのできる環境を整える
総合計画実施計画	柱3－3 生涯学習

【現状と課題】※計画策定時

・身近な学習・地域活動の拠点として各地区に配備されている公民館を将来にわたって長く使えるよう、長寿命化と改修を計画的に行っていく必要があります。 ・周南公民館、小糸公民館、清和公民館、小櫃公民館は老朽化が進み、対策が必要になっています。また、中央図書館は、設備や屋根、外壁等の老朽化対策が必要となっています。 ・デジタル技術を活用した生涯学習の展開など、地域や社会の新たなニーズや、公民館に直接来ることが難しい人などにも対応できる事業展開が求められています。 ・子どもたちの豊かな成長を育む社会教育活動を継続的に展開していくことが求められています。 ・図書館においては利用者数、貸出冊数ともに減少傾向にあります。多種多様な情報の中から信頼性の高いものを選び、社会の変化や市民のニーズに応じた資料を提供することが必要です。
--

(1) 身近な場所で学び続けられる環境の整備	
① 施策の概要	君津市社会教育施設の再整備基本計画に基づく「第1期プラン」に沿って清和公民館の複合化等の再整備を進めます。
ア 取組実績	・清和公民館の再整備を主とする「第1期プラン」を令和2年度に策定し、旧秋元小学校を活用した清和地域拠点複合施設（おらがわ）の整備が進められ、令和6年1月に開館した。
イ 課題	・地域活性化に向けた各種取組を進めていく必要がある。
ウ 今後の方向性	・地元関係者などと協力しながら、地域活性化に向けた取組を進めていく。

② 施策の概要	周南公民館、小糸公民館、小櫃公民館については老朽化や使用形態など、各施設が置かれている状況を総合的に考慮して計画的に再整備を進めます。
ア 取組実績	・3公民館及びその周辺施設の再整備に関する基本的な方針を定めた「君津市公民館等再整備基本計画」を令和6年3月に策定した。令和6年度には、PPP/PFI 導入可能性調査を実施し、効率的な事業手法などの検討を行った。
イ 課題	・令和6年度 of 取組の中で、現計画と地域ニーズの乖離、高騰する建設物価に起因する事業費の増大が課題となっている。

ウ 今後の方向性	・令和6年度の調査結果に基づき整備手法を決定する。また、「君津市公民館等再整備基本計画」に対し地域や利用者の理解を得られるよう合意形成を図る。
----------	---

③ 施策の概要	中央図書館の老朽化対策を計画的に行い、快適に学ぶことのできる環境を提供します。
ア 取組実績	・会議室等のブラインド、消防設備、トイレなどの老朽化による損傷個所の修繕を行った。
イ 課題	・耐用年数や部品の保管年数を超え修繕が難しい設備や、法定点検等で既存不適格で計画的な更新を指摘されており、中央図書館の老朽化対策を計画的に行う必要がある。
ウ 今後の方向性	・老朽化対策を計画的に行い、施設の長寿命化を図る。

(2) 子どもも大人も学び成長し続けられる機会の充実	
① 施策の概要	デジタル技術の活用による学習機会の提供に取り組みます。
ア 取組実績	・デジタル社会への対応のため、シニア層向けのデジタル機器操作、活用講座を実施（3館／延べ31回、306人）。
イ 課題	・従来パソコンの講座を中心に実施してきたが、参加人数が少なくなってきた。
ウ 今後の方向性	・初歩的な携帯の使い方が分からないというニーズも一定数あり、今後は習熟度別の講座も検討していきたい。

② 施策の概要	公民館において、生きがいづくりに役立つプログラムや、暮らしの課題解決に役立つプログラム、子どもたちの夢を育むプログラムなど、多様な事業展開に取り組みます。
ア 取組実績	・地域の課題や市民のニーズに応じて、各公民館で多様な事業（463プログラム/述べ8,626人参加）を展開した。
イ 課題	・昨年度事業（484プログラム/9,360人）実績より、プログラム数及び述べ参加者数が減少している。
ウ 今後の方向性	・各公民館で事業の見直しを継続的に進め、多様な事業展開に取り組んでいく。

③ 施策の概要	公民館を使ったことがない人にも参加しやすい事業の工夫や、地域内外の交流を深める事業展開で、より幅広い人に活用される公民館づくりに取り組みます。
ア 取組実績	・市内各公民館のアンケート回収枚数 2,009 枚のうち、はじめて公民館に参加したと回答した人は 598 人であり、およそ 29.8%の人がはじめて参加したと回答している。
イ 課題	・これまで公民館がつながりを持ちにくかった障がい者や不登校など困難を抱えた人に向けた事業の参加者が想定より少なく、実施内容等に工夫が求められる。
ウ 今後の方向性	・主催事業や施設の貸出、学習相談などの公民館の機能を発揮し、より幅広い人に活用される公民館づくりを進める。 ・これまで公民館がつながりを持ちにくかった困難を抱えた人に向けた事業展開について検討を進める。

④ 施策の概要	地域住民、団体、企業などと連携・協力することで生涯学習メニューの充実を図ります。
ア 取組実績	・連携協定を結ぶ企業等と連携を図り、生涯学習メニューの充実を図った。(明治安田生命連携 7 プログラム、NTT ドコモ連携 46 プログラム) ・市内公民館と生涯学習交流センターで連携し、生涯学習講演会を実施した。(3 プログラム)
イ 課題	・市内公民館の企画状況により、生涯学習メニューの数が変動するため、計画的な事業展開が必要。
ウ 今後の方向性	・計画的な事業展開を図れるよう、市内公民館との連絡調整を図る。

(3) 自主的に学び続けられる読書環境の整備	
① 施策の概要	絵本の読み聞かせやビジネス支援講座など各年代に対応した参加型イベントにより、市民が多種多様な資料に接する機会を充実させ、図書館の利用促進を図ります。
ア 取組実績	・定例おはなしかい 20 回、季節のおはなしかい 4 回、わらべうた 19 回、映画観賞会 12 回、きみつまちライブラリー 2 回、読み聞かせボランティア講座 (11/21. 27、12/10) などの参加型イベントを実施した。
イ 課題	・保育園等でのおはなしかいを従事できるボランティアが不足している。
ウ 今後の方向性	・登録されたボランティアの育成を行う。 ・各年代に対応した参加型イベントを実施する。

② 施策の概要	社会情勢の変化や市民ニーズを的確に把握した図書館資料を収集し、市民が必要とする情報を入手しやすい環境づくりを推進します。
ア 取組実績	・新刊や市民からのリクエストを参考に資料を購入した。図書等のリクエスト 54,231 件、貸出数 423,013 冊の利用があった。 ・開館時間等の見直しに伴い、市民のニーズを把握するため、利用者アンケートを実施した。 市民体育館分室の利用状況を調査するための利用者アンケートの実施 回答数 150 件 中央図書館における開館時間等におけるアンケートの実施 回答数 1,914 件
イ 課題	・利用者アンケートで寄せられた意見を、今後の図書館サービスにどのように生かすか検討する必要がある。
ウ 今後の方向性	・アンケートや調査を参考に、より効率的な運営やサービスの見直しなど今後の図書館サービスを検討する。

③ 施策の概要	図書館サービスのデジタル化を推進し、図書館の利便性向上を図ります。
ア 取組実績	・電子書籍において、新規登録者 608 人、サービス利用件数（ログイン数）6,796 件、貸出数 2,702 点、電子雑誌閲覧数 574 回の利用があった。
イ 課題	・図書館サービスのデジタル化を推進する必要がある。
ウ 今後の方向性	・電子書籍サービスの継続や図書館サービスデジタル化を推進し、利便性の向上を図る。

【指標の達成状況】

指標名	現状値 (時点)	実績値					目標値
		R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 8 (2026)
①公民館利用者 向けアンケート での公民館事業 における 満足度	新規	88.7%	91.6%	90.2%			90.0%
	—						
②図書館利用者 向けアンケート での利用満足度	新規	—	66.82%	78.4%			70.0%
	—						

【総合評価】

総合評価	B	評価理由	身近な環境で学び続けられる環境の整備については、地域や利用者の理解を得られるよう合意形成を図るとともに、老朽化対策を計画的に進める必要がある。子どもも大人も学び成長し続けられる機会の充実については、市内公民館と連携を深め、生涯学習メニューの充実と効果的な運用の両立を図る。自主的に学び続けられる読書環境の整備については、図書館資料の充実を図るとともに利用者の興味関心を広げるイベント等を実施し、引き続き図書館の利用につなげていく。
------	---	------	---

(3)

教育振興基本計画	第3 市民が心豊かに暮らしていける環境を整える
総合計画実施計画	柱3－4 文化・芸術振興

【現状と課題】※計画策定時

- 文化財の保管施設は、老朽化が進むとともに市民が所有する歴史資料の新たな受け入れ等が困難な状況にあり、市内に残る文化財や文化遺産の保存及び次世代へ継承していくための対策が必要です。 - 文化・芸術活動をしている各種団体においては参加者の固定化と構成員の高齢化がみられ、団体活動の継続が課題となっています。また、伝統芸能の保存団体では後継者不足が深刻化しており、新たなニーズや時勢に見合った事業の企画や環境づくりが必要です。 - 子どもから大人まで、郷土の歴史に親しむ活動を継続的に展開していくための事業を行い、郷土の歴史を後世につないでいくことが求められます。

(1) 多彩な文化・芸術に触れ親しむことができる環境づくり	
① 施策の概要	様々な年代の市民が文化・芸術に触れ親しむことができる環境づくりを進めることで、文化・芸術活動への積極的な参加を促進します。
ア 取組実績	・ 君津市民文化ホールを拠点とし、「おやこ de オペラ」や映画を上映する「きみぶんシネマ倶楽部」、各種コンサート、落語等、様々な年代の市民が多様な文化・芸術に触れることができる事業を実施した。
イ 課題	・ 君津市民文化ホールにて実施している事業によっては、集客が少ないものもあるため、集客力の向上のための対策が必要である。
ウ 今後の方向性	・ 君津市民文化ホールを拠点とし、様々な年代の市民が多様な文化・芸術に触れることができる事業を実施する。

② 施策の概要	文化振興のための市民活動団体を支援し、活動を継続させることで、伝統文化の継承を図ります。
ア 取組実績	- 君津市文化協会、君津市民合唱団、きみつ少年少女合唱団ほか2団体へ補助金を交付することで、文化振興のための市民活動を支援し、茶華道や詩吟等の伝統文化の継承を図った。 - 君津市文化協会は「チャリティー市民芸術祭」、「市民芸術祭」、君津市民合唱団は「定期演奏会」、きみつ少年少女合唱団は「Xmas コンサート」等を開催した。
イ 課題	・ 市民活動団体の会員の高齢化に伴う文化・芸術団体の継続的な活動が難しくなっているため伝統文化継承のための対策が必要である。
ウ 今後の方向性	・ 君津市文化協会、君津市民合唱団、きみつ少年少女合唱団ほか2団体へ補助金を交付することで、文化振興のための市民活動を支援し、茶華道や詩吟等の伝統文化の継承を図る。

(2) 文化・芸術に係る環境の整備	
① 施策の概要	君津市民文化ホール等の施設の適切な維持管理を図ります。
ア 取組実績	・君津市民文化ホールにおいては、指定管理者に適切な運営管理を徹底するとともに、浄化槽ブロアーの配管修繕等の施設内の修繕を実施した。
イ 課題	・君津市民文化ホールは築 34 年を過ぎ、修繕が必要な箇所が多くなってきているが、大規模修繕をするための予算がなく、小規模修繕で延命化をはかっている状況である。
ウ 今後の方向性	・君津市民文化ホールにおいては、指定管理者に適切な運営管理を徹底し、適宜施設内の修繕をするとともに、大規模修繕の対応方法を検討する。

② 施策の概要	資料館の施設の立地等を含めた今後のあり方について検討を進めます。
ア 取組実績	・漁業資料館においては、他施設への複合化等を含めた今後のあり方について関係機関と協議を行った。
イ 課題	・久留里城址資料館においては、令和 5 年 5 月の地震で被災した天守閣鯰瓦・屋根瓦の修繕が未着手なので早期に復旧を図る必要がある。 ・漁業資料館のあり方については、地域づくりの観点からも地元との長期的な協議が必要となる。
ウ 今後の方向性	・漁業資料館においては、他施設への複合化等を含めた今後のあり方について関係課および地域住民と協議を行う。

(3) 地域の伝統文化を次世代につなげる環境づくり	
① 施策の概要	学校と連携した歴史学習等を通じて、地域に残る伝統文化の保護と継承を図ります。
ア 取組実績	・スクールミュージアム事業の重点実施校（八重原小・周南小・小櫃小）で千葉県立中央博物館・森林インストラクター会・千葉県文化財課と連携し、自然・歴史分野の専門家による体験プログラムを実施した。また、希望校の外箕輪小・周南中では学区周辺の遺跡についての学習支援を行った。 ・漁業資料館では、市内小学校の校外学習での解説やノリつけ体験のほか、昔の漁業道具を用いた出前授業を行った（来館 2 校他、55 人）。 ・久留里城址資料館では、市内小学校の授業における博物館の活用に協力し、学校の要望に応じて、むかしの生活道具を用いた出前授業を行った（来館 8 校 出前 3 校 児童計 564 人）。
イ 課題	・郷土の歴史や市内に残る文化財、文化遺産の保存及び次世代へ継承していくためのさらなる対策が必要である。
ウ 今後の方向性	・市内小学校の校外学習など、学校と連携した歴史学習等を通じて、地域に残る伝統文化の保護と継承を図る。

② 施策の概要	市内外への文化財の魅力発信や文化財を活用した学習機会の拡充により、伝統文化の継承を図ります。
ア 取組実績	・ 出土遺物公開展及び発掘調査成果報告会の実施や、九十九坊廃寺跡の発掘調査の現地説明会を行い、文化財の魅力発信を行った。 ・ 企画展では、戦国時代の久留里城主里見義堯の没後 450 年を記念し、義堯に関する貴重な古文書や里見氏と君津市域とのかかわりを紹介した（来館者 3,458 人）。また関連事業により魅力を発信した（329 人）。
イ 課題	・ 郷土の歴史や市内に残る文化財、文化遺産について、魅力的なものとなるような周知方法が課題である。 ・ 魅力発信や活用の基となる調査・研究の拡充が課題である。
ウ 今後の方向性	・ 市内外への文化財の魅力発信や文化財を活用した学習機会の拡充により、伝統文化の継承を図る。

③ 施策の概要	文化財の所有者や保存団体等が行う修復や継承活動を支援するとともに、地域に残る伝統文化などを文化資源として周知を図ります。
ア 取組実績	・ 指定無形民俗文化財保存団体 6 団体に補助金を交付することで、文化財の所有者や保存団体等が行う修復や継承活動を支援した。 ・ 重要無形文化財「長板中形」の出張講座や、「伝えたい千葉の産業技術 100 選」となった「二五穴」の展示を行い、地域独特の文化資源を周知した。
イ 課題	・ 文化財の所有者や保存団体等も後継者不足から、継承活動が困難となるため対策が必要である。
ウ 今後の方向性	・ 指定無形民俗文化財保存団体 6 団体に補助金を交付することで、文化財の所有者や保存団体等が行う修復や継承活動を支援するとともに、地域に残る伝統文化などを文化資源として周知を図る。

【指標の達成状況】

指標名	現状値 (時点)	実績値					目標値
		R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 8 (2026)
①市民文化ホール 利用者の満足度	97.6%	98.0%	98.3%	97.6%			100%
	令和2年度						
②文化資源を活用 した事業の満足度	新規	93.6%	96.0%	87.7%			80.0%
	—						

【総合評価】

総合評価	C	評価理由	多彩な文化・芸術に触れ親しむことができる環境づくりや地域の伝統文化を次世代につなげる環境づくりについては、概ね順調に実施できているが、文化・芸術に係る環境の整備については、課題が多く進んでいない状況のため、環境整備に向けた取組内容の見直しが必要である。
------	---	------	--